



糸原 壽之 議員

# 質問 コロナ禍、米価下落の所得回復の戦略は

町長 世界農業遺産のブランド力効果を期待する



世界農業遺産を目指す奥出雲町

**質問** コロナ感染症の拡大により、米の消費が極端に減り、需給のバランスが崩れたことから生産者米価が下がり、水稲農家の所得は大きく減った。

そこで町は、昨年一昨年と水稲農家個々へ、支援を実施した。

しかし、需給バランスによる生産者米価は依然として上がる気配は無いなか、町の地域経済発展、仁多米のブランド力維持向上のため、水

稲農家の所得回復は必至であり、その方策と新たな所得向上目標、その戦略を立てる必要がある。町長の所感を伺う。

町長 現在国は、肥料等生産資材価格高騰対策も踏まえ、持続可能な農業生産活動を目指した、みどりの食料システムを推進することにした。本町もこの事業を活用し、更なる資源循環型を推進するとともに、農業遺産のブランド化と消費者に

安心して選んでいただけの水稲をはじめとした農林産物生産振興を展開し、農家所得の回復にあたる考えである。

**再質問** 国の事業もいいが、本町独自の目標戦略を立て、キ

**質問** 奥出雲おろち号に代わる列車、「あめつち」乗り入れ後の列車ダイヤ及び地域振興について、木次線活性化促進議員連盟は、JR西日本へ申し入れた旨、町長へ提言しているが、その後の対応は。

町長 JR西日本側からは、「あめつち」の具体的な運行計画はまだ示されていない。協議されたい旨申し入れる。

ヤッチフレーズとかキャッチコピーを掲げて、町民誰もが同じ方向を向いて、取り組むことが必要ではないか。

**再質問** 「あめつち」乗り入れによる地域経済活性化と本町の魅力発信に繋げるための、具体的な提案は。

町長 ダイヤ編成については、まだ協議の場が設けられていない。出雲横田駅での停車時間や在来線との接続、見どころで速度を落として走るなどは、今後協議の場で、提案していく。

町長 農林振興課長 町は今、世界農業遺産の申請のなかでのブランド価値について、認証制度を検討し、そのなかで有機JASとか美味しまね認証との比較の整理を行い、町の独自性を

出す。その結果については、時期が来れば示す。

「あめつち」乗り入れ後のJR西日本との協議状況は



出雲横田駅 上り、下りの列車交叉